



世論調査+討論フォーラム

札幌市・慶應義塾大学DP研究センター共同プロジェクト

「雪とわたしたちの暮らし」



日ごろから、札幌市政にご協力いただき、ありがとうございます。

このたび、札幌市では、慶應義塾大学DP研究センターと共同して、「雪とわたしたちの暮らし」をテーマに、「討論型世論調査」(※詳しくは裏面参照)を実施することといたしました。

まずは、札幌市在住の18歳以上の皆さまから、3,000人を無作為で選ばせていただき、通常の「世論調査」として、調査票へのご回答をお願いしております。

さらに今回は、この世論調査の回答者の皆さまから200人の方を、平成26年3月15日(土)に開催する「討論フォーラム」へご招待いたします。(ご参加いただいた方には、8,000円の謝礼をお支払いたします。)

回答用紙が2種類ありますので、以下の説明をご参照ください。

ご回答方法について

桃色は世論調査用です。

黄色は討論フォーラム用です。

桃色の用紙



世論調査への回答にご協力ください。

黄色の用紙



討論フォーラムへの参加意向をお聞かせください。お名前などを記入する欄がございます。

桃色の封筒



上記**桃色**の回答用紙を入れてください。

黄色の封筒



上記**黄色**の用紙を入れてください。

2月10日(月)までに切手を貼らずにポストにご投函ください。

※フォーラム参加の可否に関わらず2通ともお送りください。





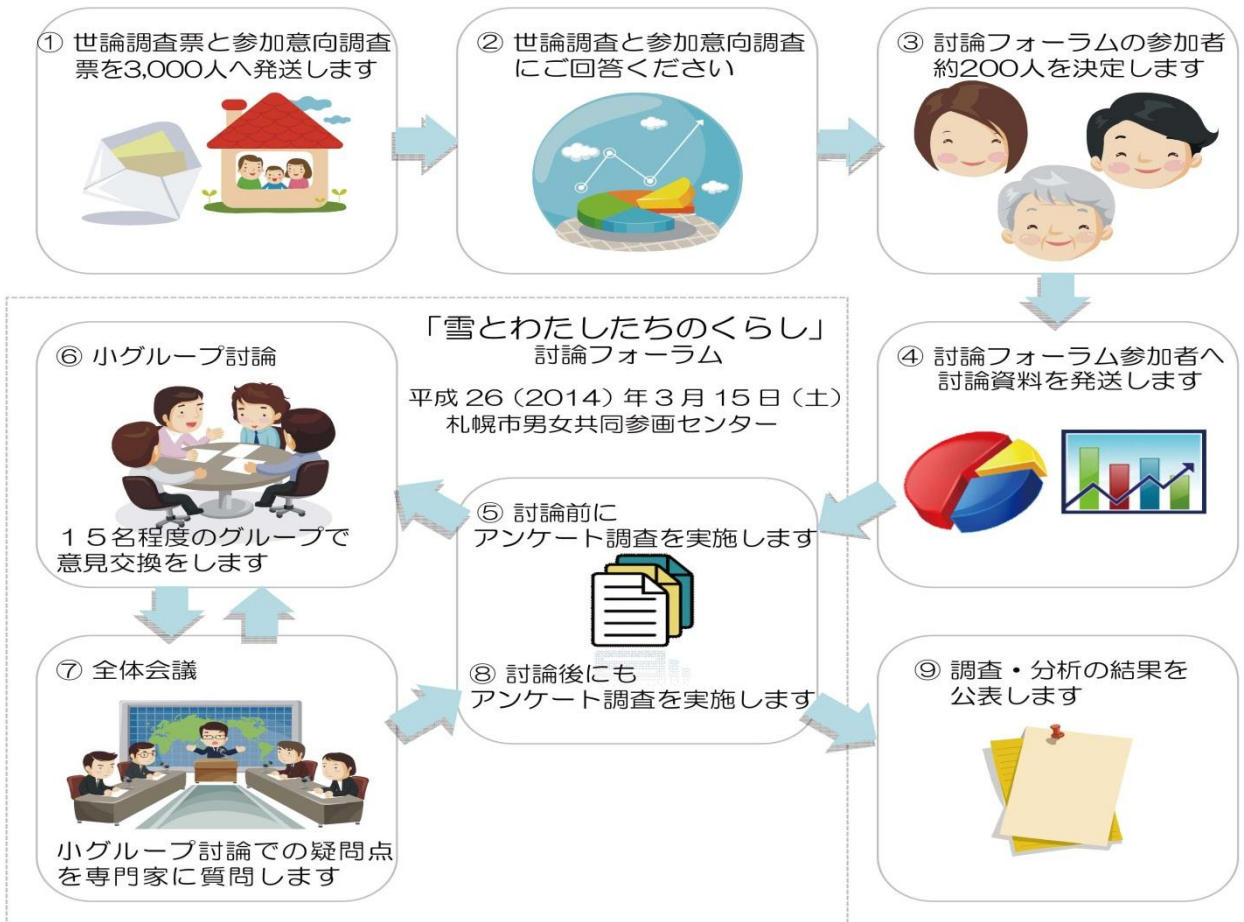
討論型世論調査(DP)とは…

世論調査 + 討論フォーラム

2つから構成される社会調査の事です。

討論型世論調査(Deliberative Poll:DP)とは、「世論調査」と「討論フォーラム」の2つから構成される社会調査の方法です。アメリカのスタンフォード大学の研究者らが開発し、世界中で行われています。わが国でも、これまでに6回行われました(北海道内では2回目です)。

討論フォーラムでは、小さなグループに分かれて他の参加者と話し合う「小グループ討論」と、グループでの疑問点を専門家に質問する「全体会議」を行います。小グループ討論では、参加者が自由に発言できるように、司会者が進行を担当します。討論の開始前と終了後にアンケート調査を行い、討論過程前後の意見の変化を調査します。



★討論型世論調査の実施主体

今回の討論型世論調査は、札幌市と慶應義塾大学DP研究センター(代表:曾根泰教 慶應義塾大学教授)とが共同で行います。DP研究センターは、これまでに、自治体と連携した討論型世論調査や、日本全国の有権者を対象にした討論型世論調査を4回実施してきました。政府(内閣官房)からの受託でDP研究センターが全国民を対象に行った討論型世論調査の結果は、平成24(2012)年の国のエネルギー政策の策定の参考にされました。